「赤旗」宣伝スポット

２０２１年１月

　こんにちは、日本共産党です。コロナ危機を乗り越えて、新しい政治、新しい日本への道を切り開くため、全力をあげています。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」を、ぜひお読み下さい。「しんぶん赤旗」日刊紙は、１カ月３４９７円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「赤旗」日曜版は、１カ月９３０円です。

●新型コロナ危機が深刻さを増しています。日本共産党は、「困りごとはありませんか」と、皆さんから要望を聞き、対策に生かされるよう努力しています。気軽にご相談ください。「しんぶん赤旗」は、雇用や営業、くらしの現場を詳しく取材。コロナから国民を守る、たしかな情報をお届けしています。ぜひお読みください。

●「しんぶん赤旗」は、「桜を見る会」私物化と菅首相による学術会議への違法な任命拒否を相次いでスクープしました。「桜」問題で安倍前首相の秘書が略式起訴されましたが、本格的な真相究明はこれからです。学術会議への介入も、民主主義の根本にかかわる重大問題で、あいまいにできません。権力を監視し、真実を伝える「しんぶん赤旗」に注目が高まっています。ぜひお読みください。

●今年は総選挙の年です。日本共産党は、政権交代の実現、野党連合政権の樹立に向けて、全力をあげています。国民の命を危険にさらし、民主主義を踏みにじる菅政権を、続けさせるわけにはいきません。市民と野党の共闘で総選挙に勝利し、新しい政治を実現しましょう。「しんぶん赤旗」は、市民と野党の共闘を伝える「共同の新聞」です。ぜひ、お読みください。

※確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」の日刊紙は、１カ月３４９７円。スマホで読める電子版もあります。週刊の「赤旗」日曜版は、１カ月９３０円です。

●コロナ感染拡大は、無為無策の菅・自公政権による人災です。「自粛と補償をセットで」、「ＰＣＲ検査を抜本的にふやす」、「病院や介護施設などへの支援をしっかり」――この方向に転換させましょう。声をあげれば政治は変えられます。「しんぶん赤旗」は、「自己責任」の押し付けではなく、社会的連帯で危機を乗り越えようと、全力で報道しています。ぜひ、お読みください。

●今年の明るいニュースは、核兵器を違法化する核兵器禁止条約の発効です。菅・自公政権は、被爆者の願いに背を向け、核兵器禁止条約への署名を拒んでいます。政権交代で、署名、批准を実現しましょう。核兵器と核戦争を許さないため、廃絶をめざす日本と世界の動きを報じる「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●「しんぶん赤旗」が主催する、囲碁・将棋の「新人王戦」は、若手プロ棋士の登竜門として注目されています。将棋の藤井聡太二冠も、２０１８年の新人王です。「赤旗」日刊紙は、新人王戦の熱戦譜を毎日掲載。日曜版でも、プロ棋士の解説をつけて毎週紹介しています。ぜひ、お読みください。

●ジェンダー平等を求める声と運動が、日本でも世界でも大きく広がっています。日本共産党は、ジェンダー平等社会の実現を綱領に明記しています。「しんぶん赤旗」は、一人ひとりの人権が尊重され、自由に生きられるジェンダー平等社会をめざし、多彩な取り組みを積極的に報道しています。ぜひ、お読みください。

※くり返し